



8月6日 愛知県独自で『緊急事態宣言』が出されました！

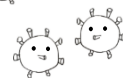
ここ最近の県内における新型コロナウイルス新規感染者数の増加（7月28日から9日間連続で100人超え）等を鑑み、その拡大を防止するため、6日、県独自の「愛知県緊急事態宣言」が発出されると共に、県民に対し以下のお願いが出されました。

○不要不急の行動自粛・行動の変容（お盆休み期間中は、不要不急の行動の自粛を）

○県をまたぐ不要不急の移動自粛（帰省や旅行、もう一度検討を）

○感染防止対策の徹底

なお、この宣言の対象期間は8月24日（月）までとなっています。



8月7日 夏休み中の授業日前半を終えて

夏休み中の授業日も前半が終了しました。県全体では7月後半から新規感染者数が増加し、愛知県緊急事態宣言の発出に至っています。一方、長梅雨で思っていたほど暑くない日もありましたが、梅雨明け宣言後から、気温がぐっと高くなることも増え、熱中症の心配が強くなりました。そんな中、日々の体調管理や登下校時の付き添い・見守り等、保護者の皆様、地域の皆様のご尽力のおかげで、子どもたちは概ね元気に登校し、勉強することができました。ありがとうございました。引き続き、夏休み明け、8月21日（金）からもよろしくお願いいたします。



コロナ禍における次の心配

夏休みの期間中は、愛知県緊急事態宣言が発出されている状況となりました。6月に学校が再開したときから、短いとはいえ、夏休みになったら臨時休校中にできなかったレジャーや帰省をしようと計画されているかもしれません。夏休みの過ごし方は各ご家庭の判断となります。感染予防対策をしっかりと講じ、くれぐれも後悔することがないようにご判断ください。

前号で述べた心配の次に、今心配していることは、子どもたちの運動不足です。学校においても、熱中症の心配から、外で遊んだり、体育の授業で運動したりすることが十分できていません。さらに、緊急事態宣言下での夏休みとなり、思うように出掛けられず、運動する機会が減るかもしれません。成長期にある子どもたちにとって、運動はとても大切。運動不足の期間が長くなっていることが心配です。そこで提案です。「スポーツをして運動を」と考えると大変なので、例えば、家事を手伝うなどして意識して体を動かすようにするだけでも違います。忙しい中、お子さんにお手伝いさせると、



時間がかかったり、世話が焼けたりすることもあると思いますが、体を動かすことで脳や神経の発達が促されます。また、免疫機能としての体力（防衛体力）、筋力・持久力・調整力としての体力（行動体力）は、子どものときに高めておきたいものです。子どもたちの将来の健康を支えるためとお考えいただき、学習と同じくらい、体を動かすことを意識して生活していただければと思います。

Looking back for けやきっ子

道脇 大斗： 今年度は、新型コロナウイルスによって初めてのことが多くなりました。その中でも、子どもたちにとって何ができるのかを考えながら、行事や授業を見つめ直しました。今後も同様に尽力していきたいと思います。

2学期も、最高学年として、例年と同様のことができないので、子どもたちが活躍できる場を工夫していきたいです。

友田(教務)： 何かさせてあげたいですね。小さなことでもよいので、新しい何かを考えたり、子どもたちと作ったりしていきたいです。



YOU&I インフォメーション

岡村市長からの
メッセージ (8/6)

◆ 愛知県独自の緊急事態宣言を受けて ◆

大府市では、8月5日までに19人の方が新型コロナウイルスに感染したことを確認しています。特に7月以降、立て続けに感染者が確認され、そのうちの大半は症状が軽症である20代・30代の若い世代の方が占めていますが、市中感染や家庭内感染により重症化のリスクの高い高齢者や基礎疾患のある方への広がり非常に懸念されております。

このような状況下で、本日（8月6日）、愛知県は独自の緊急事態宣言を発出し、8月24日までの不要不急の行動の自粛、県をまたぐ不要不急の移動の自粛、5、6人以上の大人数での会食などの自粛を求めています。現下の情勢に鑑み、今一度、お盆休み期間中の行動、移動について、ご家族、ご友人、ご自身でご検討いただきたいと思います。特に若い世代の方々には、改めて不要不急の外出の自粛と自覚を持った行動による感染拡大防止に、ご理解とご協力をお願いします。重症化しやすい高齢者、妊婦、基礎疾患のあるの方々には、感染リスクの高い施設の利用を避けていただきますよう、ご理解とご協力をお願いします。

「感染しない、感染させない」を合言葉に、オール大府で取り組んでいきましょう。

ココン東西

国の緊急事態宣言が解除されてしばらく経ち、例えばプロ野球やサッカーの試合が始まり、映画や演劇も上映・上演され、テレビだってリモートではなく、対策を施したスタジオに人が集まって撮影されるようになった▼ただ、職員の七夕の願い事にもあったけれど、気軽に海外へ旅行に出掛けたり、みんなで楽しく会話しながら給食を食べたりすることは控えなければならぬいし、当然マスクは手放せない必須アイテムのままで。まだまだコロナ以前の日常は取り戻せていない。なんとなく報道や世間の反応から、自分もそんな気だった▼しかし、よく考えたら、私はコロナ以前から旅行に行くことはなかったし、野球も好きではない。映画館にも行かないし、食事はずっと孤食だ。花粉症でいつもマスクをしていた。お酒が飲めないから飲み会がなくても平気。何だ、コロナの影響、受けてないじゃん。